

VP-II SP

Hand Vascular Pattern Recognition System

生体認証は難しい？

「セキュリティシステムはたくさんあるけれど、一体どれがいいのだろう？」
「面倒なシステムはいらない。精度が高く、使いやすいものはないかな・・・」
答えは、ここにあります。

手の甲静脈 認証システム

VP-II SP 3つのポイント！

Point 1

カンタン登録・認証スピーディー

登録は、番号を入力し、手の甲を2回当てるだけ。
カンタン登録だけど、認証は高精度でスピーディー。

Point 2

素早く運用

登録したデータはネットワークを通じて全てのドアに自動配信。
登録した直後から運用開始できます。

Point 3

ネットワーク拡張も柔軟

スタンドアローンから大規模ネットワークまで、
ニーズに応じた拡張が行えます。

VP-II SP

● RUN

● LINK

● CH 1

● CH 2

手の甲でカンタン！
でも、なぜ手の甲静脈で生体認証？



静脈パターンのイメージ

静脈パターンは1人1人固有のもので、そのため偽造が大変難しく、なりすましによる盗用などの、不正行為を防止できます。



特徴 1

手の甲静脈は、気温や体調の変化を比較的受けにくく、生体認証に適しています。年間を通して安定したスピーディーな認証が得られます。

特徴 2

手の甲は、静脈パターンが取得しやすく、なおかつレバーで位置を固定することで、正確に認証できます。

特徴 3

手の甲は、日常生活であまり怪我をしない、年齢による変化もきわめて少ない部位です。また、手の甲をかざす認証方法に、心理的な抵抗感はほとんどありません。

手の甲静脈 認証システム

VP-II SP は、3つで構成されています。

VP-II SZ (スキャナ)、VP-II SC (コントローラ)、NetControl-SP (管理ソフトウェア) の3つの役割をご紹介します。

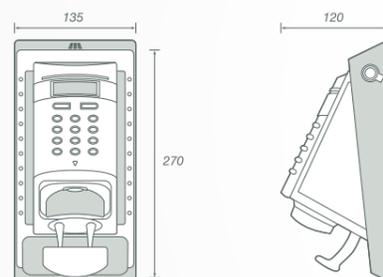
VP-II SZ

(スキャナ) 登録・認証を行います。



カンタン登録、認証スピーディー

登録は、番号を入力し、手の甲を2回当てるだけ。カンタン登録だけど、認証は高精度でスピーディー。



TIPS

キーボードの下にある、赤外線CCDカメラで手の甲静脈パターンをスキャンし、独自の最新認証アルゴリズムを用いてデータ化。登録、認証をスピーディーに行います。

登録方法

使用者にID (2~24桁の数字) を設定。静脈パターンを登録。

認証方法



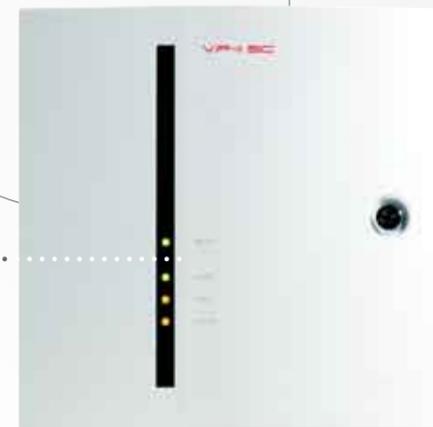
1. 使用者IDを入力

2. 手の甲をかざして『ピッ!』

3. スピーディーに認証完了!

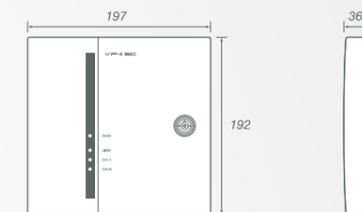
VP-II SC

(コントローラ) ドアのコントロールを行います。



素早く運用

VP-II SZ (スキャナ) で登録した、静脈パターンデータはネットワークを通じてVP-II SC (コントローラ) に自動配信。登録した直後から運用開始できます。また、ユーザーレベルやカレンダーに合わせて通行可能なドアを制限。カードや共連れ防止装置との連携。アンチパスバック、ドアや警報の制御など、豊富な機能でドアのコントロールを行います。



TIPS

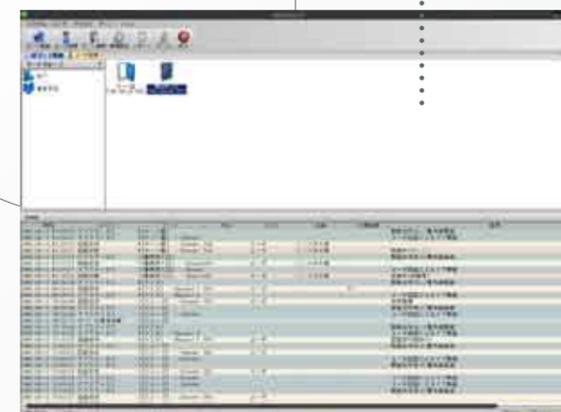
ドアの内側に設置し、静脈パターンデータをメモリ内に保存します。

ネットワーク拡張も柔軟

スタンドアロンから大規模ネットワークまで、ニーズに応じた拡張が行えます。詳細は次のページへ。

NetControl-SP

(管理ソフトウェア) 管理・レポートを行います。



TIPS

一目で分かりやすいインターフェース。ドアリスト管理や、ユーザー別の動態日報などレポートも作成できます。

管理操作はラクじゃない?

直感的な画面で操作性をアップしました。レポートの作成も簡単なクリック操作でOK。管理操作はラクなんです。異常発生時にはアラート画面がポップアップ、管理者へメールも通知。使いやすい管理操作で、業務を強力にサポートします。



手の甲静脈 認証システム

VP-II SP 構成プラン

入退室管理 = 多彩なマネジメントへ

1つのドアから複数のドア、さらには多拠点間を結ぶ大規模ネットワークまで、構成プランは自由自在。ニーズに応じた構築を実現し、後の拡張にも柔軟に対応できます。入退室管理 = 多彩なマネジメント(管理・統制)へと発展します。

1 エントリープラン

小規模オフィスから、中規模企業まで、『VP-II SP』の初めての導入に最適です。

中小企業・事務所 (勤怠管理)

なりすましのない勤怠管理で社内モラル向上。
カード不要で紛失もなく、再発行の手間とコストを削減。

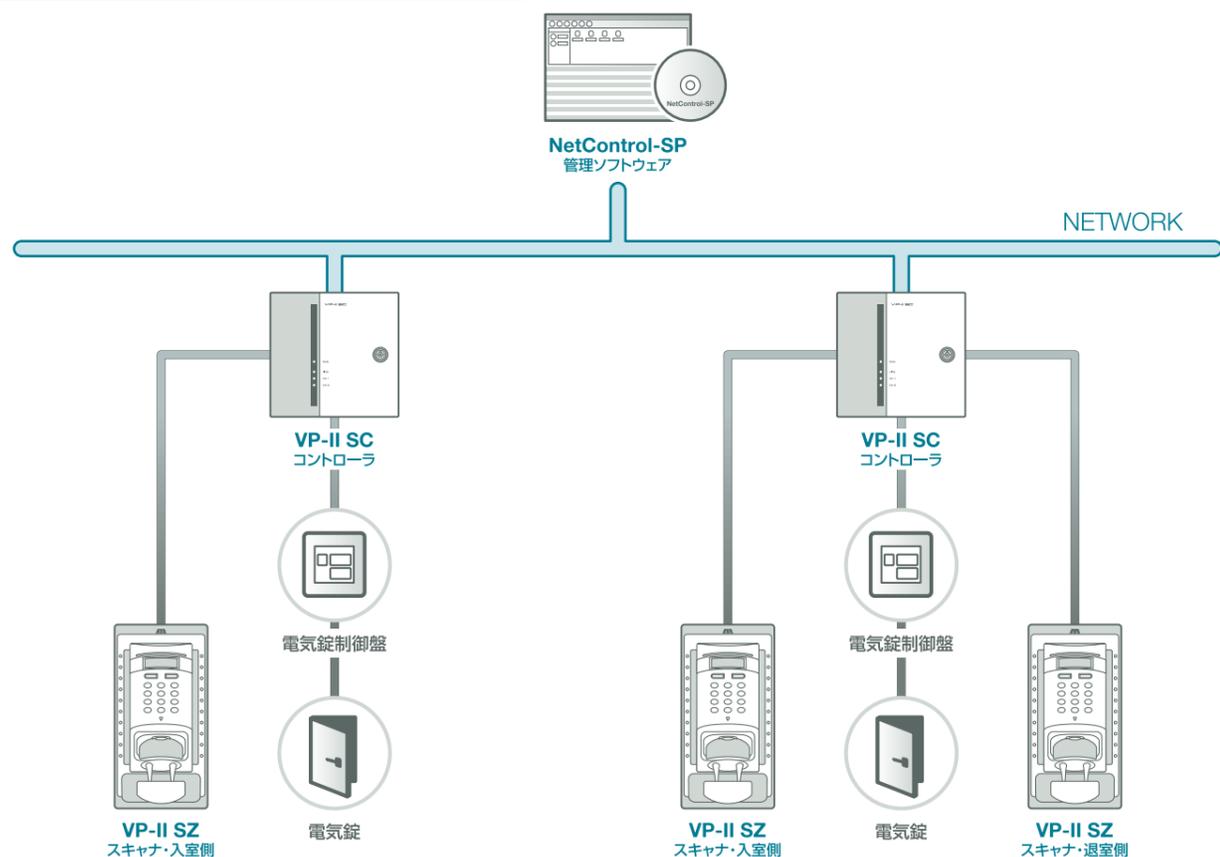
建設業・イベント (現場入場管理)

登録したスタッフの入場を正確に管理。
スタッフの要員管理、コスト管理向上。

IT企業・地方自治体 (サーバールーム管理)

サーバールームのセキュリティを高め、担当作業員の
通行履歴・本人認証で信頼性向上。

導入事例



2 スタンダードプラン

多拠点間を結ぶ中規模から大規模のネットワークを導入できます。『VP-II SP』の素早い運用を体感できます。

導入事例

サービス業 (複数拠点管理)

本社と支店間で異動・出張も再登録不要で対応。
一元管理で手間いらず。

食品業 (安全管理)

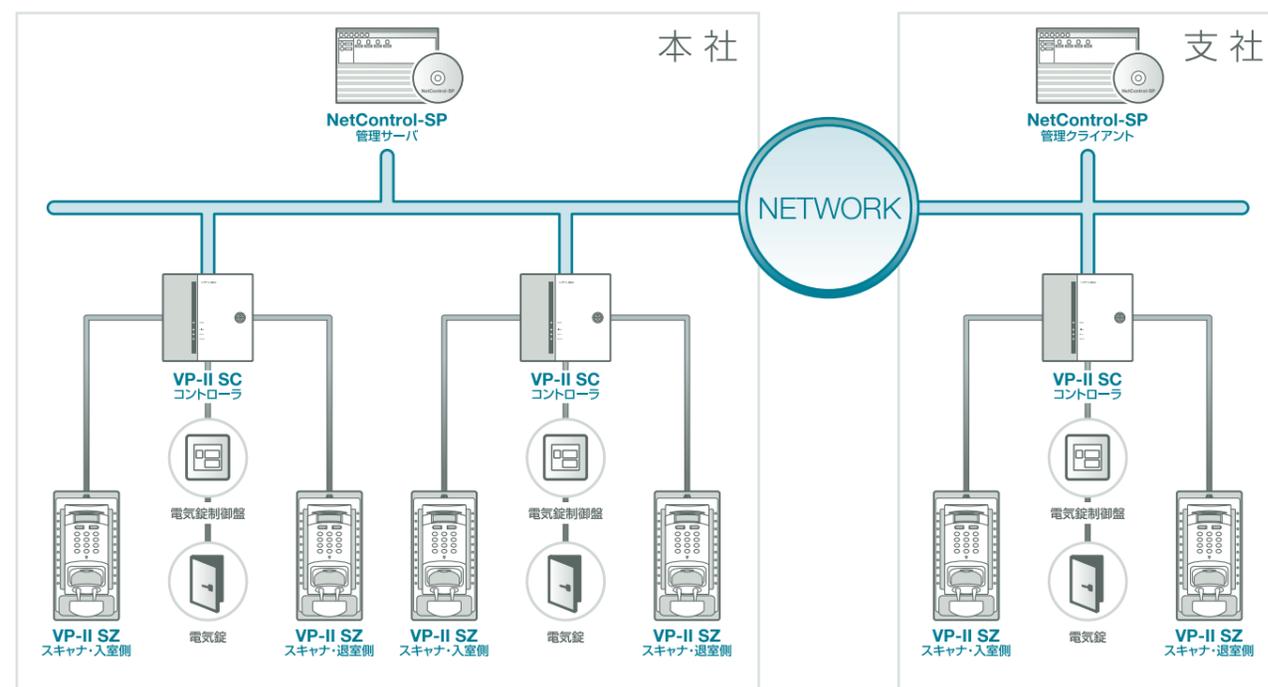
頻繁な派遣・パートの登録・抹消もスピーディー。
食品のトレーサビリティも人のトレーサビリティから。

コールセンター (個人情報管理)

ナビゲータの追加登録・抹消も簡単管理。
本人認証で信頼性あるセンター運用へ。

製造業 (コンプライアンス)

本社で認証データを一元管理。現場担当者もセキュアなシステムで設定。
企業価値向上と柔軟性をサポート。



3 ハイエンドプラン

各種機能を最大限活用し、大規模・複雑なシステムを導入できます。『VP-II SP』のクオリティが発揮されます。

導入事例

金融機関 (統制管理)

アンチバスバック機能、共連れ検出連動で高度な管理を実現。
事故防止、リスクマネジメントに寄与します。

物流センター拠点 (流通管理)

人の出入りの激しい場所も、カードを持たずにスピーディーに認証。
使いやすさと同時に、盗難防止に効果を発揮します。

データセンター・公共供給施設 (インフラ管理)

顧客のサーバールーム・電気水道ガスなどの重要入退のセキュリティ
確保を提供します。カードにはない、本人認証をサポートします。

医療・研究施設 (危険物管理)

技術情報の漏洩防止、危険物の保管庫を管理。
内部統制にも効果をもたらし、安全安心に寄与します。



脅迫・警報信号の出力

万が一ユーザが他人から脅迫され、認証をする場合、警報信号を出力できます。警報信号機能により、管理者や警備員、防災センターなどに危険な状態を知らせることが可能です。



アンチバスバック

入室時の共連れや、退室時のすれ違いによる未認証者の入退を規制することにより、不正侵入防衛をサポートします。



メールで異常を通知

脅迫やこじ開け、開放異常が起こった場合、管理者にメールで異常を通知します。常時管理室に待機しなくても、異常を逐一知ることができます。



共連れ検出連動

登録者が認証後、ドアを通過する際、後ろから故意に未登録者が認証せずに入室しようとすると、共連れを検出します。共連れ検出と連動することにより、警報を鳴らす、カメラで録画するなど、不審者の侵入を防ぎます。

使いやすさを、安心へつなげる。

手の甲静脈 認証システムVP-II SP

日々の使いやすさを安心につなげる、
手の甲静脈 認証システム『VP-II SP』。
お分かり頂けたでしょうか？

日本をはじめ、世界中の運用実績で培われたノウハウを
結集して誕生したこれからの認証システム。

皆様に、日々使って頂くためのエッセンスがここにあります。

生体認証のパフォーマンスは、
スペックを読むだけでは分かりにくいもの。

NEXT STEP!

さあ、次への第一歩を！

あなたも体感してみましよう。



VP-II SP システムの主な機能

ハードウェア部	認証方式	赤外線反射式(非接触読み取り)
	認証速度	0.4秒/回
	認証精度	他人受入率(FAR)0.0001% 本人拒否率(FRR)0.01%
	登録方法	PIN(2~24桁任意)+静脈読取を2回
	使用者数	50,000人
	管理者数	50,000人(登録済み使用者から管理者を指定)
	履歴保持件数	500,000件(管理ソフトと通信していない場合)
	最大設置数	100ゲート
	タイムゾーン	個人毎に使用可能時間を2シフト設定
	アンチパスバック	入退室情報が一致しない使用者に認証制限(別途管理ソフトNetControl-SPが必要)
	警備連動	連動中は認証不可
	解錠パスワード	管理者が任意の使用者に権限を付与
	脅迫警報	非常時に通報可能
	ジョブコード	1~10桁のコードを出力
	バージョンアップ	オンラインでSZ、SCをバージョンアップ(別途管理ソフトNetControl-SPが必要)
	サーバレスモード	管理PCなしでも静脈データの一元管理が可能

ソフトウェア部	クライアント・サーバ	管理端末を管理サーバとTCP/IPで接続された任意の場所に設置
	ログイン管理	ソフトウェア操作者をシステム管理・使用者管理・閲覧のみ、の権限別に作成
	機器状態管理	ゲート施錠状態、機器通信状態を管理
	履歴保存	SQL Server 2005 Expressに保存
	レポート	認証・入退室履歴、システムログ、タスクリスト、勤怠レポートを表示
	使用者管理	使用者に名前、グループ名を付与
	イベント管理	使用者の入退室状況、登録/削除、機器異常、警報を表示
	マップ管理	マップ上でゲート状態を管理
	通行制限	使用者毎に使用できるゲートを選択
	タイムゾーン	使用者毎に使用可能時間を2シフト設定
	遠隔登録	管理ソフトから遠隔で静脈登録を実行
アンチパスバック	アンチパスバックを使用者、ゲート毎に設定(ゲートのグループ化も可能)	
バージョンアップ	オンラインでSZ、SCをバージョンアップ(別途管理ソフトNetControl-SPが必要)	

VP-II SP システムの主な仕様

VP-II SZ (スキヤナ部)	寸法	135(W) x 120(D) x 270(H) mm
	重量	1,100g
	電源	DC12V(SCから給電)
	ハウジング素材	PC+ABS
	RoHS 指令	対応済み
	使用温度	-5℃~50℃
	使用湿度	10%~90%(ただし結露のないこと)
	取付高さ	1,150mm(機器中央)
	表示	液晶画面(日本語、英語、韓国語、仏語、台湾語、中国語) 状態表示LED(緑、赤、青)
	ビープ音	4段階(大、中、小、無音)
	操作	テンキー入力または外部システム連動
	通信方式	RS232(SZ-SC間)
	入出力端子	Wiegand入力(26~48ビット) Wiegand出力(26~64ビット)

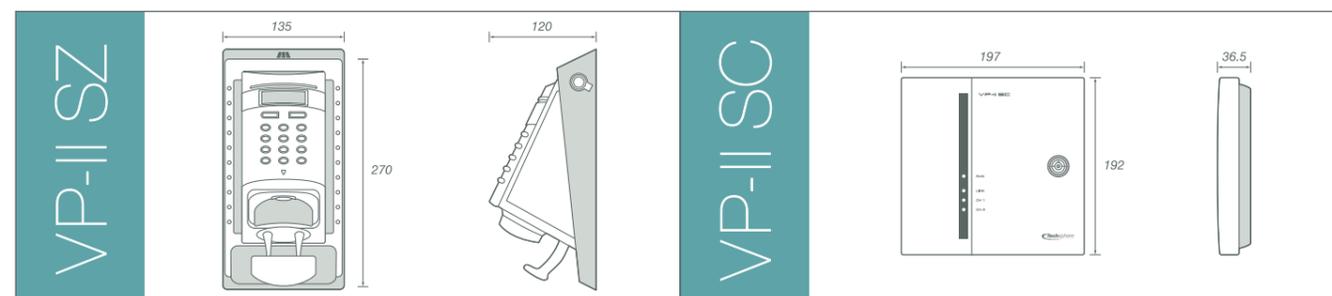
NetControl-SP (管理ソフト)	CPU	Pentium III 600MHz(最小) Pentium IV 2GHz以上(推奨)
	メモリ	256MB(最小)、1GB以上(推奨)
	HDD	200MB(最小)、4GB以上(推奨)
	OS	Windows XP Professional SP3、 Windows VISTA Business、 Windows 2003 Server
	解像度	1024 x 768(XGA)以上
	データベース	Microsoft SQL Server 2005 Express Edition
	LANポート	10BASE-T(最小)、100BASE-Tx(推奨)
	USBポート(USB1.1 / 2.0)	ライセンスキーが1ポート占有

※ Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

※ VP-IIはTechsphereの登録商標です。Techsphere及びTechsphereのロゴは韓国Techsphere Co., Ltd.の韓国及びその他の国における登録商標です。

※ 本資料に記載されている内容は予告なしに変更されることがあります。

VP-II SC (コントローラ部)	寸法	197(W) x 36.5(D) x 192(H) mm
	重量	460g
	電源	AC100V(付属ACアダプタより給電) DC24V(外部電源より給電)
	消費電力	最大30W(DC12V 2.5A)
	ハウジング素材	PC+ABS
	RoHS 指令	対応済み
	使用温度	-15℃~50℃
	使用湿度	10%~90%(ただし結露のないこと)
	表示	状態表示LED(緑、オレンジ)
	通信方式	RS232(SZ-SC間) TCP/IP 100BASE-Tx(管理ソフトまたはSC間)
	入出力端子	解錠信号出力、解錠ボタン入力、開扉状態入力、 施錠状態入力、Wiegand入力(26~48ビット)、 Wiegand出力(26~64ビット)、警備入力、 火災警報入力、脅迫解錠出力、タンパー入力



日本の皆様へ

私どもTechsphere社は世界初の『静脈認証装置』メーカーとして、常にお客様の現場ニーズに触れながら、課題克服に向けた研究と、飽くなき進化に向けた開発を継続して参りました。

お陰様で、VP-IIプロダクトもシリーズ化を通じ、販売開始より出荷台数も累計1万台を超え、同機の円熟モデルとも呼ぶべき『VP-II SP』をリリースする運びとなりました。

静脈認証のパイオニアとして、今後とも皆様の末永きご愛顧を得られますよう、更なる研鑽を重ねて参りたいと思います。

心よりご愛顧に感謝を申し上げます。

Techsphere CEO / President
Alex H. Choi (アレックス・チョイ)



Techsphere

製造元

Techspahre Co., Ltd.

Wonil B/D 4F. 980-54 Bangbae, Seocho,
Seoul, South Korea 137-060

SYNCHRO

販売元(日本総代理店)

株式会社SYNCHRO

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-1 細井ビル2階
TEL 03-4570-3291 FAX 03-4570-3292
E-Mail : message@udc-synchro.co.jp
URL : http://www.udc-synchro.co.jp

販売店